

於大のみち基本計画案 全体方針

■コンセプト

まちの記憶を辿り、次世代への歩みを広げる、流れゆく風景の回廊

■デザインコンセプト

○空間デザイン

景色を取り込みつつ、人々の動きや空間の広がりなど、様々な活動の流れを表す舗装デザインとします。まわりの景観と調和しながら、様々な活動ができるような開放的な空間を表現します。

○施設デザイン

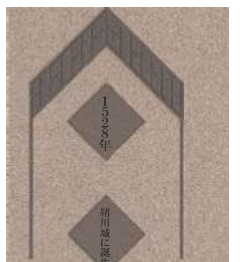
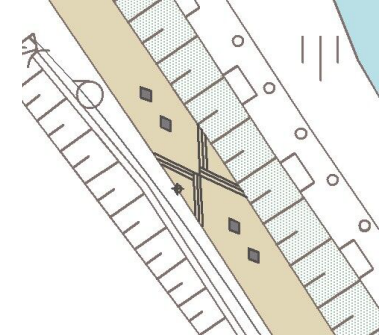
ベンチなどは、自然景観や既存施設とのバランスがよい自然素材を基本とします。人が歩く流れや動きとつながり、人や自然との交流を生む場をつくります。



於大の方の着物



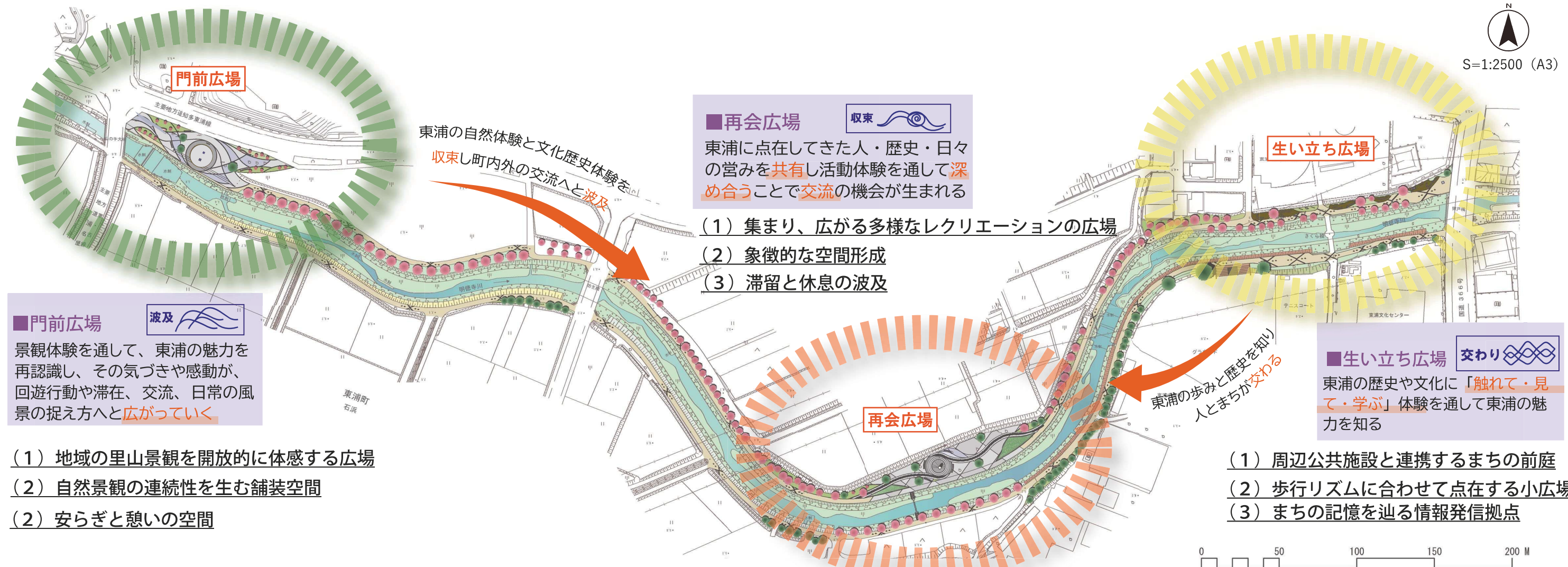
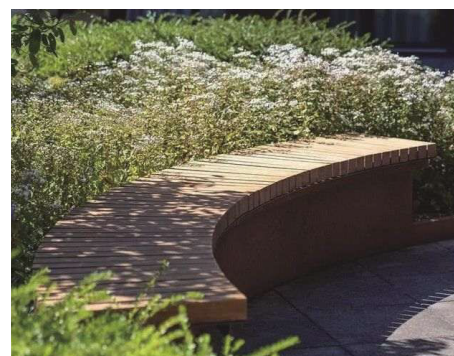
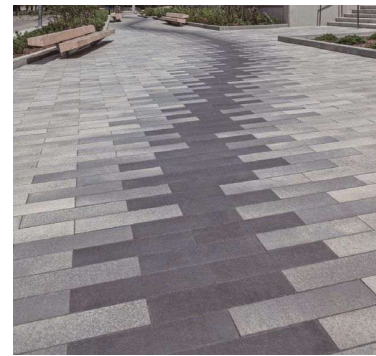
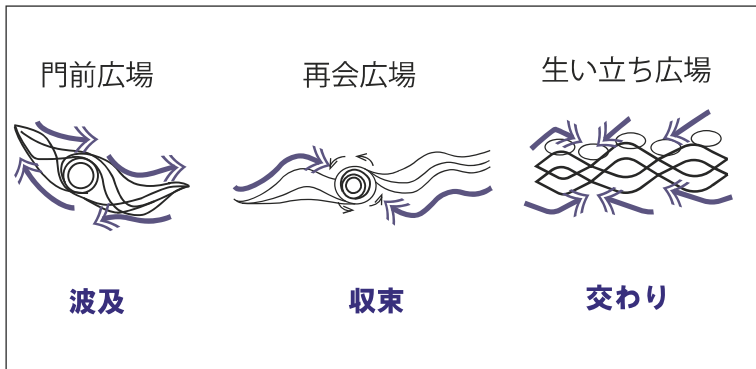
現代の着物



例) 舗装デザイン

○舗装デザイン

於大の方の象徴の一つである着物になぞらえて、襟もとの赤く映える部分が華やかで象徴的な印象を与えることから、現代にも受け継がれる着物の襟合わせをモチーフにしたデザインを於大のみちの統一デザインとして新たに計画する各種施設や舗装デザインに踏襲し、地域に根付く文化の拠点としての位置付けを効果的に発信します。



■門前広場

波及

景観体験を通して、東浦の魅力を再認識し、その気づきや感動が、回遊行動や滞在、交流、日常の風景の捉え方へと広がっていく

- (1) 地域の里山景観を開放的に体感する広場
- (2) 自然景観の連続性を生む舗装空間
- (2) 安らぎと憩いの空間

■再会広場

収束

東浦に点在してきた人・歴史・日々の営みを共有し活動体験を通して深め合うことで交流の機会が生まれる

- (1) 集まり、広がる多様なレクリエーションの広場
- (2) 象徴的な空間形成
- (3) 滞留と休息の波及

■生い立ち広場

交わり

東浦の歴史や文化に「触れて・見て・学ぶ」体験を通して東浦の魅力を知る

- (1) 周辺公共施設と連携するまちの前庭
- (2) 歩行リズムに合わせて点在する小広場
- (3) まちの記憶を辿る情報発信拠点